



ロシアNIS経済速報

社団法人 ロシアNIS貿易会 2011年（平成23年）11月15日号 No. 1545

目次

■ ロシア極東の経済情勢と2012年APEC後の展望	P.ミナキル 1
■ 統計速報	11
第3四半期のロシア経済は4.8%成長／11	
2011年1～9月の日ロ貿易／11	
■ トピックス	14
経済産業省がロシア経済発展省と覚書を締結／14	
サンギ、薬用歯磨きをロシアで販売／14	
カシオがロシアの腕時計専門店拡大へ／14	

講演録

ロシア極東の経済情勢と2012年APEC後の展望

ロシア科学アカデミー極東支部経済研究所 所長

P.ミナキル

はじめに

（社）ロシアNIS貿易会では、ロシア科学アカデミー極東支部経済研究所のP.A.ミナキル所長を招聘し、2011年9月27日、東京・如水会館において極東経済セミナー「ロシア極東の経済情勢と2012年APEC後の展望」を開催した。以下では、その内容を紹介する。

急伸する投資と成長率とのギャップ

以下では、ロシア極東における経済の現状ならびに極東経済の問題点と今後10年程度の展望を述べることにしたい。

2008～2009年にかけてロシアは、世界金融危機の影響を強く受けたが、極東地域へのその影響は、ロシア全体に比べれば、それほど大きくなかった。極東では、世界金融危機の間にも地域総生産（GRP）や工業生産に低下がみられなかった。主要マクロ経済指標から明らかのように、2000～2010年の10年間に極東経済は著しい成長をみせた（表1）。